

建築・設備 工学科



 https://www.kurume-it.ac.jp/gakubu/kenchiku_shokai.html

学科の 特徴

一般の建築系の学科では、設備の分野は基礎的な部分しか触れていません。科目数では2〜3科目程度です。本学科では設備の分野は12科目あり、基礎的な内容から実務に直結した内容まで段階的に詳細な教育を行っています。

建築と設備について 総合的に学べる 全国唯一の学科

一般の建築学科では、設備の分野は基礎的部分しか触れませんが、本学の「建築・設備工学科」は、学科開設以来建築と設備の両方の教育を行っており、建築と設備について総合的に学べる全国でも唯一の学科なのです。そして建築士や管工事施工管理技士などの資格取得に特化した科目も設け、資格取得教育を推進しています。開設科目のほとんどは資格と直結しており、本学科で学ぶことにより実務に必要な資格が取得しやすくなります。

コースの特徴

建築デザインコース



一級建築士をめざして
建築を総合的に学ぶ
ことができるコースです

建築デザイン、建築構造、建築歴史、建築計画、環境工学、インテリアデザインなど建築に必要な知識を総合的に基礎から学ぶことができます。設計製図、模型作製、工学実験、CAD演習など実験・演習科目を通して、建築技術者になるための基礎を学びます。

Check **身に付く力** 建築設計、建築施工、インテリアデザイン関係の企業で働くための基礎的な知識と技術が身に付きます。また、建築デザインや構造、設備に至るまで幅広い知識が必要な**建築を総合的に管理する能力の基礎**が身に付きます。

設備デザインコース



全国で唯一、
設備について詳しく学ぶ
ことができるコースです

人が居住するうえで欠かすことのできない空調設備、給排水衛生設備、電気設備などの設備について詳しく学ぶことができます。建物の冷房・暖房の負荷計算から空調設備、給水や排水負荷計算から給排水衛生設備、また建物の照明計算や電気容量計算から電気設備等、各設備の設計手法を学びます。

Check **身に付く力** 設備会社で働くための実務に直結した“**仕事能力**”が身に付き、設備の設計業務から設備工事現場の施工管理業務まで、どのような技術部門に配属になっても幅広く対応できるようになります。

Pick Up

研究室

上原研究室



鉄筋コンクリート造柱梁接合部鋼板補強の実用化に関する研究

鉄筋コンクリート構造骨組の柱梁接合部は、帯筋で補強しても、せん断耐力が増大しないという問題があります。そこで、私たちは接合部を鋼板で補強することを提案し、そのせん断補強効果が優れていることを示しています。本研究では、その実用化をめざし、鋼板補強を考慮した柱梁接合部のせん断補強設計法を確立します。さらに、現在、新たな課題となっている、柱梁曲げ強度比の小さい接合部に対する補強効果についても確認します。

池鯉鮒研究室



簡易型光ダクトの研究

建物で使用するエネルギーの約15%は照明のエネルギーです。昼間太陽が出ていて外は明るいのに、室内では照明をつけているというのは非常にもったいないですね。その外の光を取り入れて必要な場所まで導き、室内を明るくしようという技術が“光ダクト”技術です。本研究で扱っている光ダクトは、素材として環境に優しいエコな“段ボールダクト”を使用した簡易型光ダクトです。この簡易型光ダクトの性能について実機を使った実証を進めています。

トピックス

リノベーション学生コンペで 最優秀賞と審査員特別賞に 選ばれました。

2017年度に久留米市主催で市営高良内団地の住戸を対象とした「リノベーション学生コンペ」が行われました。最優秀賞には本学科4年生(当時)の石原 崇正君、秋本 伸和君、城間 博暉君のグループの作品「高良内団地×学生カフェ」が、また審査員特別賞には、本学科1年生(当時)の横山 鈴奈さん、丹田 太雅君、宮崎 孔大君のグループの作品「Select Space」がそれぞれ選ばれました。最優秀賞の案をもとにして、実際にリノベーションの工事が行われています。



資格

学科が支援する資格

一級建築士

2年次から4年次にかけて、建築士対策講座をカリキュラムに組み入れて、支援しています。一級建築士の学科試験の1)計画、2)環境・設備、3)法規、4)構造、5)施工、の5つの分野について、それぞれ独立した対策講座を設けて教育しています。

- 建築士(170名超)
- 1級建築施工管理技士(約60名)

1級管工事施工管理技士

管工事施工管理技士対策講座をカリキュラムに組み入れて、支援しています。この講座では1級管工事施工管理技士の過去問題を中心に演習形式で正解を導けるようにしています。施工実務に関わる内容も多く出題されるため、施工現場の経験があり実務を知っている教員が指導し、理解を深められるように対応しています。

- 1級管工事施工管理技士
(卒業生の大半が取得)

就職

就職率と 就職先

就職率

100%

毎年100%近い就職率!!

就職先は建築会社と設備会社で、建築・設備工学科の名称通りとなっています。業種が明確なのが本学科の特徴です。2016年度および2017年度の就職率は100%を達成しました!

卒業生の就職先一例

- 九電工
- 清水建設
- 大和ハウス
- 安藤ハザマ
- きんでん
- 大気社
- ピーエス三菱
- 日本国土開発
- セキスイハイム九州
- 新菱冷熱工業

※青字は1部上場企業



Voice of Student 在学生の声

清水建設株式会社

私が大手ゼネコンを志望した理由は、技術研究の最先端で仕事をしなかったからと、街のシンボルを造る仕事に携わりたかったからです。就職活動では、企業情報の収集をいち早く始めるとともに、インターンシップにも積極的に参加しました。九州の大学に通学する学生は関東の学生と比べると就職活動に関する情報量が不足するため、いち早く就職活動を開始することで、希望する会社から内定をいただきました。



関 謙一郎さん
久留米市立
南筑高等学校出身



Voice of Student 在学生の声

高砂熱学工業株式会社

大学に入ってから人生を変えることができず。悲観する必要なんて全くありません。何をするにも常に応援してくださる先生方のおかげで、伸び伸びといろんなことに挑戦し、人一倍成長することができました。大学で設備工学を学ぶ中、サイエンス要素を含んだ奥深さと健康な暮らしを支えている重要性に引き込まれました。高砂熱学工業の業界No.1の技術力を駆使してニーズや世界環境等、多くの人の思いに幅広く応える設備技術者になりたいです。就活では自分の強い思いを伝えることがポイントです。



坂井 友香さん
佐賀県立
致遠館高等学校出身